

かわごえ環境推進員協議会 令和元年10月15日 №20

環境推進員だより

発行責任者：大塚 淳

編集責任者：小田島 隆

かわごえ環境推進員協議会 大塚 会長 挨拶

かわごえ環境推進員の皆様に支えられまして会長として4期目後半を迎えさせていただきます大塚です。引き続き会長の大役を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

さて、来年の東京五輪におきましては、川越市がゴルフ競技の会場都市に選ばれており、多くの方が川越にお越しになると思います。観光都市、そして環境美化都市として、川越の魅力を多くの方々にPRする絶好の機会と捉え、今年度から来年度にかけて、かわごえ環境推進員の皆様のお力添えにより、ごみ拾い等の環境美化活動やポイ捨て防止等に関する啓発活動を行っていきたくと考えております。

当協議会では、活動方針の一つとして「地域の環境美化活動の推進及び啓発」を掲げており、市民の皆様一人ひとりの定期的なご自宅周辺の清掃活動が、地域、更には市全体の環境美化につながるものと考えておりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

文末になりましたが、環境推進員の皆様には、ごみ問題や環境に対するより一層の啓発活動をお願いするとともに、市民の皆様には、地域の環境推進員に対するご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。



◆◆◆ 役員紹介 (令和元年度) ◆◆◆

会 長	大塚 淳 (第2支部 元町2丁目自治会)	幹 事	吉田 文雄 (名細支部 上戸自治会)
副会長	田中 基夫 (高階支部 寺尾第3自治会)	〃	里村 貴幸 (霞ヶ関支部 的場上組自治会)
〃	小田島 隆 (南古谷支部 あゆみ自治会)	会 計	野下 孝一 (第8支部 岸町1丁目自治会)
幹 事	大野 伊佐夫 (芳野支部 谷中自治会)	〃	鳴河 敏夫 (福原支部 下松原下自治会)
〃	白田 正至 (第7支部 仙波町2丁目自治会)	監 事	横山 昇 (第5支部 西小仙波町1丁目自治会)
		〃	沼野 潔 (古谷支部 蔵根自治会)

よろしくお願いいたします。

～環境プラザ (つばさ館) から～

環境プラザ (つばさ館) では、11月17日 (日) に「つばさ館まつり2019」を開催します。エコに関するイベントを多数行います。

ぜひ、ご来館ください。また普段でも、開館日 (月曜日、祝日等を除く) 中、館内等を自由に見学することができます。

団体で施設案内を聞きながら見学したい場合は環境プラザ (つばさ館) にご相談ください。電話番号049-239-5053

【昨年のつばさ館まつりリユース大市の様子】⇒



支部の活動報告

～～南古谷支部の活動から～～



【プランターの花】

南古谷支部は26自治会、7月1日現在人口25,098名規模の支部です。毎年人口が増えており、この1年間では、220名増加しています。春、秋のクリーン作戦も、各自治会で積極的に行っており、小学校、中学校、自治会単位での資源回収も盛んです。支部全体の活動としては、15年程前から環境美化を目的として毎年行っている活動があります。

南古谷市民センター前プランター35鉢に、6月はペンタスを植え、11月にはパンジーに植え替え、1年を通してきれいな花で、来客をお迎えしています。散水は、1週間単位で、各自治会員が交代で担当しており、自分達が植え替えた花の生育状態を毎日見守っています。

春秋の植え替え時には、30名程のスタッフが朝早くから土の入れ替えと肥料の追加を、慣れないながら和気あいあいと土を混ぜ、苗を一つ一つ丁寧にプランターに3株ずつ植えていきます。楽しい時間です。これからも続けていきたいと思えます。

他に、今年の11月の植え替え時には、市民センターの前の樹齢250年の伽羅の古木の2年に1度の養生を行います。枝の剪定、枯れ葉の除去、消毒薬の噴霧、幹の布巻き等、皆さん初めてのことで戸惑いながら、作業を行います。機会がありましたら、南古谷市民センターの伽羅木を見に来てください。

今後の課題は、ごみの減量化、特に雑紙・布類の分別・資源化です。ごみゼロ活動時等で啓発に励んでいきます。

～～霞ヶ関北支部の活動から～～

霞ヶ関北自治会には、自治会が清掃など維持管理等を行う高圧送電線下の公園が4箇所あります。また、近くには小畔川、かほく運動公園があり、定期的に清掃作業を行っています。

年2回の「ごみゼロ運動」に、約50名の方々が参加され清掃活動を行っています。

これからも住民の方々の協力を得て、きれいで住みやすい町づくりを目指したいと思えます。



【清掃活動】

～～川鶴支部の活動から～～



【環境推進員ブース】

川鶴地域では「資源集団回収」活動に力を入れて取り組んでいます。4自治会と子ども会・小中学校PTAが年間スケジュールを組んで、大きな成果を上げています。特に、かわつる三芳野団地自治会では、地域住民の高齢化が進み、重い資源物を集積所まで運搬することが難しく、軽量化対策を目的に回収回数を増やし、年間24回（毎月2回）の活動を行っています。

環境推進員活動としては、定例の委員全員による会議・役員会の他11月に行われる地域の連合文化祭の場に「環境推進員ブース」を設置し、環境活動の紹介や資源リサイクルの状況について紹介しながら、住民の皆さんに体験していただいています。

また、毎年度、環境推進員全員を対象に研修会を行っています。昨年度は三芳町上富にある「三富今昔村」を訪ね、建築廃棄物などを100%資源化する施設を見学し、農園や緑の育成などにも取り組んでいる状況を研修しました。皆さんも、ぜひ研修機会を作っていただければと思います。

かわごえ環境推進員活動内容

かわごえ環境推進員は、廃棄物の減量・資源化の推進、廃棄物の適正処理及び地域の環境美化活動等を地域のリーダーとして行うことにより、循環型地域社会の形成と住みよい魅力ある地域づくりを推進します。

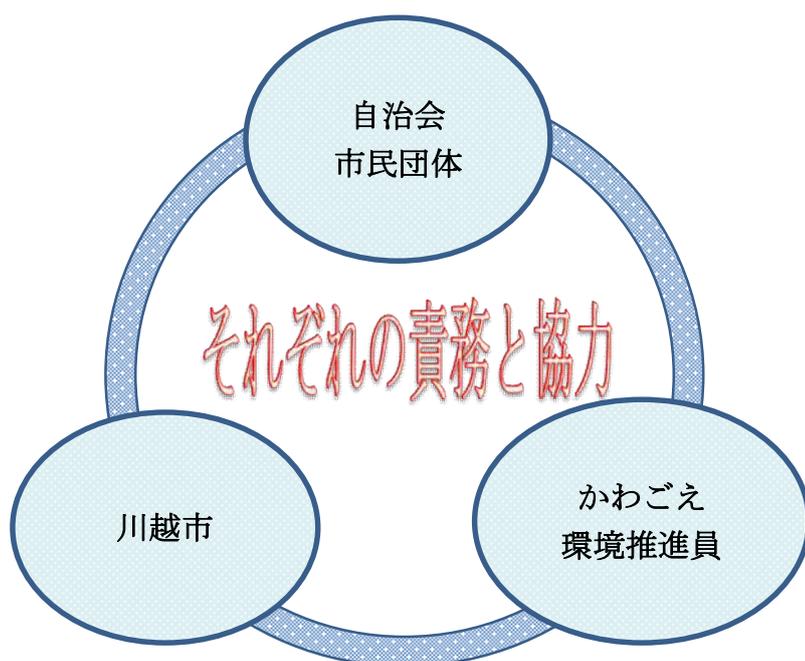
①ごみの減量化・資源化の推進及び啓発に関すること

②ごみの分別の指導及び啓発に関すること

③資源の集団回収に関すること

④地域の環境美化活動の推進及び啓発に関すること

かわごえ環境推進員は、市が行う施策に協力することにより、市と地域を結ぶ重要な役割を担うものとして、期待されています。また、自治会や子供会など地域の組織や団体と協力しながら地域の実情にあった活動を行っています。



川越市マスコットキャラクター
ときも

【編集後記】

かわごえ環境推進員は、地域の環境美化活動の一つとして、ごみ集積所の清掃やごみの分別の啓発を行い、また自治会や子供会などと協力しながら、資源の集団回収を推進しています。

心無い人達による、ごみのポイ捨てが後を絶ちません。とりわけ飲料用ペットボトルの散乱ごみは風で飛ばされ、河川へと通じ、最終的には海へと流出し、世界規模で問題となっている「海洋プラスチックごみ」の原因となってしまいます。

日頃より、ボランティアの方や自治会の方々、かわごえ環境推進員の方などが、地域の生活環境をより良いものとするため、このようなポイ捨てされたごみの清掃活動をされており、大変有り難く感じています。